

平成 22 年度兵庫県立国見の森公園事業実績報告書

1 総括

平成 22 年度は、33,167 人の利用者があり、前年度に比べて 2,744 人（平成 21 年度 35,911 人）の減少となった。

その要因としては、特別プログラムの国見まつりや国見山初日の出ハイキングの中止などによるものと思われる。

内訳として、一般来園者が 1,168 人の減少をみせが、プログラムの実施回数・参加者数及び団体の利用数・利用者数については、大きな増減はなかった。

2 事業内容

(1) 施設維持管理（別記）

来園者に施設を安全かつ快適にご利用いただくために、職員により日常的な点検を行うとともに、業者に委託し定期的な施設設備の点検を実施した。

(2) プログラム運営

プログラムの運営については、活動スタッフを中心に公園の特色あるプログラムを実施した。

また、四季にあわせて特別プログラムを実施し、プログラムの充実を図った。

①活動プログラム実施

実施回数 78 回 参加人数 1,644 人

②特別プログラムの実施

春 川魚の釣り大会

夏 川魚のつかみどり大会

秋 9 2 3（くにみ）まつり …… 雨天により中止

冬 国見山初日の出登山会 …… 降雪により中止

③活動スタッフ登録者数

69 名（平成 23 年 3 月末現在） 前年度より 6 名減

(3) 里山保全創造事業

①委託による事業

公園内の良好な森林空間を維持するために、宍粟市シルバー人材センターに委託し、里山の整備を行った。

・「四季彩の森」「教科書の森」「花の谷」の下草刈り等

②活動スタッフによる事業

活動スタッフ「森を育てるグループ」の活動より、遊歩道の清掃及び周辺整備を実施するとともに、プログラム用施設や遊具の整備を行った。

・ピザ窯の整備

・遊具（ボードクライミング、木の輪投げ、丸太跳び）の整備

③ボランティア活動等による事業

地元の学校の野外活動の一環として、森づくり活動を実施した。

・実りの森の整備

実りの森の遊歩道にウッドチップを敷設した道約 200mをトライやる・ウィーク受け入れ生徒とともに整備した。

- ・花の谷の整備

花の谷に地元の小学校により、ブルーベリー 50 本を植栽した。

- ・教科書の森の整備

教科書の森について、地元中学生により果樹木 12 本を植栽した。

3 事務局の運営

(1) 職員の構成

職員数 7名

内訳	公園長兼プログラム担当	1名
	プログラム担当	2名
	総務担当	1名
	庶務（モノレール担当）	1名
	施設管理担当	2名

(2) 運営協議会の開催

- ・第1回運営協議会

期 日 平成22年7月29日（木）

場 所 国見の森公園交流館研修室

内 容 ・平成21年度実績報告について
・平成22年度利用状況について
・今後の取り組みについて

- ・第2回運営協議会（出席者少数のため流会）

期 日 平成23年3月25日（金）

場 所 国見の森公園交流館研修室

内 容 平成22年度利用状況について
平成23年度事業計画について